

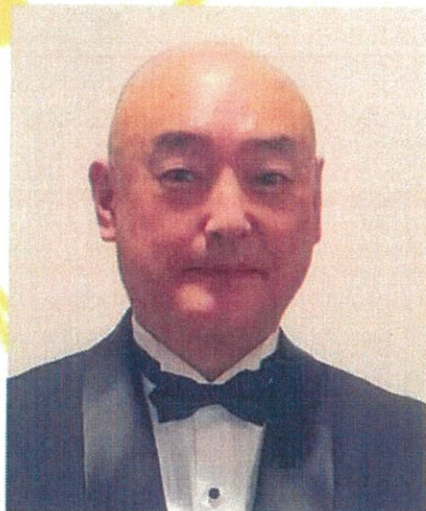
電気文化会館プレミアムセミナー

共催:電気文化会館(中電不動産株式会社)

対談

落語大百科

古今亭菊之丞さんは文化庁芸術選奨、芸術祭賞など数々の受賞歴を誇る実力派真打です。大友浩さんは、東京かわら版の元編集長で、落語講座が10年以上続く人気講師です。そんな二人が、落語の魅力、奥深さ、裏話など、ここでしか聞けない話を繰り広げます。生の落語一席もお楽しみにぜひご受講ください。



演芸研究家 大友 浩

雑誌、新聞の編集を経て、1991年から寄席芸能情報誌『東京かわら版』の編集長を務める。03年8月から演芸研究家・文筆家となり、オラリティ(音声文化)・身体論・場といった視点から、新しい演芸論や芸能論を日々探求している。雑誌、新聞に演芸や芸能に関するエッセイなどを多数執筆。著書に『花は志ん朝』『噺家いきつけの「安くて旨い乙な店」』など。有線放送の番組「うきうき落語会」のナビゲーターも行っている。1958年、東京都生まれ。中央大学法学部卒。演芸 CD レーベル「ワザオギ」プロデューサー。



落語家 古今亭菊之丞

1972年生まれ、本名小川亮太郎。「中・高6年間、寄席に通ったおかげですっかり脳から口調まで毒された学生生活でしたが、おかげ様でお客様からは「江戸・明治を感じさせる噺家」と呼ばれております。やはり寄席で育った人間ですから、舞台・高座を大切につとめていきたいと思えます」
主な持ちネタは、火焰太鼓 愛宕山 妾馬 景清 三味線栗毛 幫間腹 親子酒 長短。

●日時 3月31日(木)13:00~15:00

●会場 電気文化会館・5階イベントホール

※地下鉄「伏見」駅4番出口から東へ徒歩2分

※会場は「栄中日文化センター(久屋中日ビル)」ではありません、ご注意ください。

●受講料 4,400 円(税込) ※よりどりバック対象講座

QRコードから
簡単申し込み!



詳細は下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

※受講料には維持管理費が含まれています。 ※一部の講座の受講料には音楽著作権使用料が含まれています。

※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。

※お申込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。

登録料
不要



名古屋・栄 中日文化センター

〒460-0008 名古屋市中区栄4-16-36 久屋中日ビル7F

☎0120-53-8164

10:00~19:00(日曜日は17:00まで)